



大山崎の野鳥 (ジョウビタキ)

第147号

発行日 平成30年3月10日  
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)  
 発行責任者 栃尾 勉  
 連絡先 大山崎町歴史資料館内  
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289  
 URL <http://www.kyoto-ofg.org/>

ガイド説明・資料集が完成 出前ガイドの新作が完成

ガイド整備実行委員会委員

野沢 満



平成29年度事業計画の取り組み方針として「ガイド実績の向上と来客者の満足度アップ」が目標とされた。その一環で特別事業として「地域力再生プロジェクト支援事業交付金」を活用することになり「ガイド整備実行委員会」を上げた。

メンバーは、各班からの代表6名と三役で編成し、10回の会議を重ねて実施した。

実施検討項目は、①ガイド説明資料の作成、②散策マップとガイド申込書の見直しと改訂、③PRカード作成、④のぼり旗の製作、等の整備作成することを計画したが、③と④は地域力再生交付金の対象外項目と指導を受け、取り止めとなった。

②は一部を改訂修正し割合スムーズに出来たが、ほとんどの時間を費やし苦労したのは、①のガイド説明資料の作成で大激論（一時は委員会の存続も危ぶまれた）を重ねてなんとか完成することが出来た。

説明資料は、大半が写真と一部図録で構成されており、著作権の問題もあり、福島館長様にもご意見、アドバイスなどを戴きながら完成することが出来た。

これからは、この説明資料を活用し、各々が更なる自己啓発と、お客様に分かりやすいガイドが出来ると役立てていただけたら幸いです。

出前ガイド新作実行委員会委員長

野尻 裕三



今年度事業として出前ガイド新作実行委員会を設け、各班から選出された委員と三役により、昨年5月から12月まで編集作業を行い、6作品を制作しました。

各作品のシナリオは委員と三役が担当し、挿絵は京都造形芸術大学の学生、卒業生の皆様と2班の山本喜三郎氏に依頼して、写真は宝積寺様に鬼くすべ行事の記録をお借りして制作を進めました。出前ガイドの対象を子供向け、お年寄り向けとしており、シナリオ（せりふ）は出来るだけ分かりやすい内容にしました。

絵及び写真はそれぞれの作品にぴったりあったものに仕上がっております。演技される方はこのシナリオ通りではなく、自分流にアレンジして演技しても構いません。この内、新春のつどいで4作品を披露しましたが如何でしたでしょうか。又、テレビ用ケーブルを購入し、少人数用にテレビ画面で放映出来るようにもしました。これで出前ガイドの手持ちが16作品となりましたので、今年もっと広範囲に前向きな出前ガイド活動をお願いしたいと思います。



1月12日～3月9日までの活動実績

1. 主なガイド

- ・1月19日(金) 第二大山崎小学校3年生 39名
- ・1月20日(土) 円明寺ヶ丘長寿会 出前ガイド 25名
- ・1月24日(水) 愛で歩こう会 28名
- ・1月27日(土) クラブツーリズム 20名
- ・2月17日(土) 写経と散策 52名
- ・2月17日(土) パナソニック松寿会 17名
- ・2月22日(木) パナソニック松愛会 26名
- ・2月23日(金) 大山崎小学校3年生 102名

2. 会の行事など

- ・1月17日(水) OFG新春のつどい 48名
- ・1月28日(日) 第一回講演会「地域の文化財に学ぶ」 61名
- ・2月11日(日) 第二回講演会「光秀と本能寺の変」 80名
- ・1月24日(水) 1班学習会「恵解山古墳と周辺散策」 16名
- ・2月22日(木) 2班学習会「乙訓の古墳群」 36名

活動予定

☆ 主なガイド、行事予定

- ・3月24日(土) 「水辺の散策」(OFG主催) 全班
- ・4月3日(火) 大山崎第十長寿会(出前ガイド) 2班
- ・4月4日(水) 京都ホテルオークラ 2班
- ・4月7日(土) 東海道五十三次完歩会 2班
- ・4月21日(土) 大山崎町政策総務課 4班
- ・5月19日(土) 「春の天王山ウォーキング」(OFG主催) 全班
- ・4月12日(木) 平成30年度OFG定期総会
- ☆ 「OFGあちこち学習山歩」
  - ・3月26日(月) 石清水八幡宮～背割り堤
  - ・4月23日(月) 芥川城跡～摂津峡
- ☆ 大山崎町歴史資料館 小企画展
  - ・3月6日(火)～3月18日(日)
  - 「禁門の変と十七烈士の顕彰」

1～2月ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		宝積寺・定点		合計	
1～2月	11件	326人	163件	367人	0件	0人	174件	693人
平成29年度累計	94件	2,902人	1,039件	2,803人	314件	899人	1,447件	6,604人

加藤善朗氏(京都西山短期大学教授)をお招きし、多数の参加のもと大念寺の重文の阿弥陀如来立像等について、いろんな角度から解りやすくご講演を戴きました。

昭和13年、ご住職さんが頭が動くのに気付き調査したところ、胎内納入経巻などが発見され、昭和25年に重要文化財に指定された。造像は、後鳥羽上皇が「承久の乱」で隠岐の島に配流され崩御された後の仁治4年(1243)に証空上人が関わり、真正極楽寺(真如堂)の阿弥陀如来立像を摸刻されたと伝わっている。

造像目的は胎内納入物の月輪牒は「阿」文字の他、後鳥羽院皇子の清浄金剛道覚や沙門証空の銘があり、証空上人や道覚法親王の臨終仏などの説もあるが、後に三鉢寺から大念寺末寺の浄土院に移しているの、後鳥羽院の後生安樂の為との加藤教授の説であった。

納経など胎内収納物は仏像に光を放つため、さまざまな仕掛けが施されているなどの話に受講者皆さん真剣に聞き入っていました。(1班 奥西 正明 記)

亀岡市文化資料館々長黒川孝宏氏が話をされた。丹波地方は盆地があり山がある。その向こうにも盆地があり山がある。各地に独立心の強い、一筋縄ではゆかぬ武将たちが居座っている。信長に命じられた光秀は5年を掛けて兵糧攻めや調略で丹波を攻略した。

光秀の人物像は肖像画や同時代の書簡等から想像できる。古典故事に通じた教養人であり、交渉術に通じた有能な武将でもある。その能力を認めた信長は城持ち大名第一号に任じた。

本能寺の変についてはよく語られ、本に著わされ、テレビドラマ等でおなじみである。我々、歴史好きも漠然とした知識を持っている。何故、光秀が信長を討ったのか、諸説あるが永遠の疑問。本能寺の変で光秀の誤算は信長の遺骸を発見できなかった事。即日の安土城支配に失敗した事。細川、筒井の不参加。秀吉の中国大返しの四つ。私には光秀が頭角を現した丹波攻略等について新知識を得た。(2班 澤田 僚一 記)



3年生39名を5名のガイドで支援しました。

学校を出発、桜の広場へ1200年位前であろう瓦製造工場が14年前に発見され国の史跡に指定された話にすごいな～の声、また

観音寺では天皇の文書を届けた勅使門の説明に偉い方が来るくらい立派なお寺だと感心。

竹林のこみちから宝積寺へ、閻魔堂では仏様は悪いことをしないように閻魔大王になり教えている話を神妙に聞き入っていた。山崎の合戦で秀吉が勝利して建てたといわれる三重の塔、関大明神を通り油の神様といわれる製油発祥の地、離宮八幡宮の由緒を話し、最後に大山崎町歴史資料館で日本の中でも数少ない歴史遺産の多い大山崎を知ってもらった。

この町のすばらしさをガイドの話に聞き入り質問も感嘆も多く一心にメモを取る生徒さん、すばらしさを感じ取ってもらえたな～と思うガイドでした。

(1班 奥西 正明 記)



3年生102名のガイドを行った。当日は、今年の冬の寒さからやや解放され、温かい日となった。

わが方のガイドは、各班3名計12名。出発時間が押していたので、自己紹介は名前のみとお願いしていたのだが、それで済まないのがわがOFG。個性ある一言を付け加え、自己紹介。

東黒門跡、離宮八幡宮、関大明神、大山崎町歴史資料館、宝積寺、観音寺、瓦窯跡を巡った。

子供たちは、皆、記録ボードを持ち、ガイドの説明を熱心に記録していた。特に、閻魔堂では、閻魔さんの大きさにびっくり、瓦窯跡では、なぜここで瓦が焼かれたかについて、都への交通の利便性や瓦製造に適した環境が理由であるという説明にうなずいていた。

学校に帰ってきたとき、子供たちは、楽しかったと言ってくれ、清々しい気持ちで、お別れの挨拶をした。

(2班 石橋 克己 記)



2月17日(土)、みぞれ降る寒い日でしたが、早くからお見えになり待っていただきました。参加者52名で部屋の中がいっぱいになる盛況でした。

寺石院代様から「心の中で念じる」との法話の後、全員で「般若心経」を唱えました。声で思いを現すようで、声を発して心の中がすっきりされたことでしょう。

いよいよ写経が始まり、私語が一つない静寂の中、無の心境が伝わってくるようでした。写経された方から順に一人づつ院代様から講評を受けられました。写経を見ながら、ご本人の顔を見ながらの講評は大好評で、それを目当ての方もいらっしやるとお聞きしています。

その後の甘酒の接待は、生姜がきいて、とても美味しく頂きました。皆さん緊張されていたのでホックリされたことでしょう。身も心も温まる甘酒でした。

昼食をされてから、閻魔様・本堂・小槌の宮を拝観し、登山・山麓コースへと出発されました。

寒い日でしたので出発までの待ち時間が気の毒でした。でも皆さん喜んで頂けたと思っています。

(3班 上田 幸代 記)

#### \*参加者の方から感想をいただきました

充実した楽しい一日でした。宝積寺では、般若心経・理趣経のどちらも写経させて頂きました。我知らず没頭した30分でした。宝積寺は、要衝の地にあることから時代時代の出来事などに関わらざるを得なかったことなど、今後も知りたいことが多くあります。

天王山へは何とかたどり着けましたが、道筋は、眼下の景色・十七烈士の墓・酒解神社・山崎城址など歴史の縮図を見るかのようでした。

ガイドの会の方々の素晴らしい対応に“感謝”有難うございました。(尼崎市 平田 智恵子 様)

#### 訃報

1班の南憲司さんが亡くなりました  
永年のガイドの会への貢献に感謝し  
謹んでご冥福をお祈りいたします。